今月のテーマ

与件と創造

田上市長のホッとトーク

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

新しい年が始まります。

今年は新幹線元年。秋にはいよいよ最新型の新幹線が長崎にやって来ます。それに先駆けて、春には長崎駅に「長崎街道かもめ市場」がオープン。〝陸の玄関口〟長崎駅がまた少し進化します。

＊　＊　＊

長崎は地形上、外から陸路で入るには2つの道しかありません。東からの「長崎街道」と北からの「時津街道」です。

昨年は新日見トンネルが2車線から4車線になりました。今年の春には高速道路の4車線化も完成。新幹線の開業と併せて、東からのルートは格段に良くなっています。まさに新・長崎街道です。

新・時津街道に当たる北のルートも整備計画が進んでいます。長崎駅の西側を浦上川に沿って進み、長崎西洋館（川口町）の辺りで国道206号に合流する道路を、合流せずに滑石までつなぐ長崎南北幹線道路です。その先の佐世保まで続く西彼杵道路も合わせて完成すれば、北からのルートは格段に良くなります。

南と西はどうでしょう？

江戸時代には長崎から南に延びる道がありました。野母崎まで続く「みさき道」です。今、南部では南環状線と国道499号の工事が進んでいます。

一方、西からは海路しかありません。そこでは松が枝国際観光船ふ頭の2バース化の事業が進んでいます。クルーズ船をさらに受け入れることができるようにするためです。

長崎市中心部から東西南北につながる4つの道は、今、少しずつ確実に進化しています。

＊　＊　＊

時代がどんなに進んでも、道の方向が変わらないのは、まちの「位置」が変えられないからです。それはまちづくりの〝与件〟であり、まちの未来を考える時のスタート地点でもあります。でも移動手段は徒歩や馬や駕籠（かご）から、新幹線やクルーズ船に変わっています。

「歴史」も与件の一つです。開港から450年、長崎は交流都市でした。それはこれからも変わらないと私は思います。でも、先々月のこのコーナーでお話ししたように、交流の形は時代によって変わります。

「地形」も与件の一つですが、長崎の歴史は、埋め立てによって地形を変えてきた歴史でもあります。長崎と東京の「距離」は変えられませんが、到達時間は昔より随分短くなりました。「距離」は変えられなくても、「時間距離」は変えられるのです。

与件からのスタートと未来の創造。どちらも大事です。与件を活かしながら、それを未来に活かす道を創造する。今年、開港450年から開港500年に向かう長崎のまちづくりの新しい旅が始まります。

出かけて見る・知るまちのオススメスポット

ながさきプチ旅行

幸せを願って 深堀のえびす様

④

③

①

②

深堀地区を歩いていると、カラフルなえびす様があちこちにいらっしゃいました。

大漁祈願と家内安全を願って祭られていて、屋敷えびすと呼ばれる個人宅のものを含めると、その数80体以上。起源は、江戸時代に兵庫の西ノ宮本社から佐賀藩主がえびす様を譲り受けたことで、佐賀藩内に広まり、そこから深堀に伝わったと言われています。風化からえびす様を守るため、明治時代に色を塗り始め、毎年塗り直しているそう。いろんなポーズや表情をした、一つ一つ個性的なえびす様を楽しめます。

深堀地区を歩くとお気に入りのえびす様が見つかるかも。